

PRESS RELEASE

2025 年 12 月 11 日

アップヴィ、I know IBD (アイノウ アイビー・ディー) プロジェクトが「PR アワード 2025」においてブロンズを受賞

- IBD(炎症性腸疾患)は主に指定難病である潰瘍性大腸炎とクロhn病^{1,2}があり、主な症状である下痢や腹痛により、トイレの回数の増加^{3,4}や、食事の制限⁵など患者さんの日常生活にさまざまな影響を及ぼすこともある疾患
- I know IBD プロジェクトは、IBD 患者さんの日常生活での「見えない壁」の 1 つである外出時のトイレの不安解消と、社会全体における IBD への理解向上を目指し、2022 年 5 月に始動
- 同プロジェクトが、日本パブリックリレーションズ協会が主催する「PR アワード 2025」でブロンズを受賞

アップヴィ合同会社(本社:東京都港区、社長:ティアゴ・カンポス ロドリゲス)は、炎症性腸疾患(IBD)の正しい理解を広め、IBD 患者さんが「周囲の IBD への理解」を実感できる社会の実現を目指す「I know IBD プロジェクト」について、公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会が主催する「PR アワード 2025」においてブロンズを受賞したことをお知らせします。

PR アワードは、パブリックリレーションズのプロに求められる 4 つの項目「Strategy & Research: 課題解決のための戦略性」「Idea: 課題解決のための独創性」「Execution: 活動内容の専門性または完成度」「Impact & Results: 実現した行動変化と事業への影響や社会的にもたらした変化」を基準に審査が行われます。

今回受賞した「I know IBD プロジェクト」では、IBD 患者さんを取り巻く社会が気づいていないさまざまな課題を「見えない壁」と位置づけ、明らかにし、解消に取り組み、社会全体の疾患への理解を高める

ことを目的としています。患者さんの日常生活に影響するものの 1 つとして、外出時のトイレへの不安があります⁶。本プロジェクトでは、トイレを理由に外出に気後れしてしまう、活動範囲が限定的にならざるを得なくなってしまうなどの患者さんの日常生活における「見えない壁」に対して、IBD 患者さんへのトイレの貸し出しをはじめ、多くの企業・店舗の協力を得て解消に取り組んでいます。

2022 年 5 月の発足以来、美容室、飲食店、薬局、ホテルなど幅広い業界・業種からの賛同を得て、協力企業・協力店数は 47 都道府県で協力企業 199 社、協力店舗数 3,188 店舗(2025 年 11 月末時点)となり、IBD 患者さんを支える輪が全国で広がっています。

I know IBD プロジェクトの発足から 4 年目を迎え、「外出時にトイレを借りられる場所があるということは、とても心強い存在」などの患者さんの声が寄せられています。アップヴィは、今回の受賞を励みに、さらに支援の輪を広げ、社会全体での疾患認知と理解を広げることで、より多くの IBD 患者さんの日常生活の質の向上に貢献してまいります。

PR アワードについて

PR アワードは、公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会が、日本におけるコミュニケーション技術の質的向上およびパブリックリレーションズに対する一層の理解促進を図ることを目的として、毎年開催しているアワードです。一般企業・団体の広報部門や PR 会社が実施するコミュニケーション活動に留まらず、社会との共創を通じてビジネスと世の中を動かしたパブリックリレーションズの実践事例を広く募集し、審査を通して日本を代表する優秀な活動を表彰、公開しています。

I know IBD (アイノウ アイビー・ディー) プロジェクトについて

本プロジェクトの目的は、「見えない壁」ともいえる、社会が気づいていない IBD 患者さんを取り巻くさまざまな課題を明らかにし、その解消に取り組み、さらには IBD を正しく認知し理解する人が一人でも多く増えることで、社会全体の IBD についての理解を高めることです。5 月 19 日の「IBD を理解する日」に先駆け、2022 年 5 月 17 日に発足しました。

プロジェクト ロゴ	プロジェクト ステッカー
<p>I know IBD</p>	

- プロジェクトウェブサイト内 コンテンツ(協力店トイレ MAP)



アッヴィについて

アッヴィのミッションは現在の深刻な健康課題を解決する革新的な医薬品の創製と提供、そして未来に向けて医療上の困難な課題に挑むことです。一人ひとりの人生を豊かなものにするため次の主要領域に取り組んでいます。免疫疾患、がん、精神・神経疾患、アイケア、さらに美容医療関連のアラガン・エステティックスポートフォリオの製品・サービスです。アッヴィの詳細については、www.abbvie.com をご覧ください。Facebook、Instagram、X(旧 Twitter) や YouTube や LinkedIn でも情報を公開しています。

日本においては主に、免疫疾患、肝疾患、精神・神経疾患、がん、アイケアの領域、さらに美容医療関連のアラガン・エステティックスのポートフォリオで、製品の開発と提供に取り組んでいます。アップヴィの詳細については、www.abbvie.co.jpをご覧ください。[Facebook](#) や [YouTube](#) でも情報を公開しています。

References:

1. 難病情報センター潰瘍性大腸炎(指定難病 97) <https://www.nanbyou.or.jp/entry/62>(2025年12月1日閲覧)
2. 難病情報センタークロhn病(指定難病 96) <https://www.nanbyou.or.jp/entry/81>(2025年12月1日閲覧)
3. Rubin DT, et al.:Inflamm Bowel Dis. 27,1942-1953(2021)
4. Hibi T, et al.: Inflamm Intest Dis. 5:27–35 (2020)
5. Matsumoto T, et al.: J Crohns Colitis. 9,477-482 (2015)
6. Devlen J., et al. Inflamm Bowel Dis Volume 20, Number 3, 545-552 (2014)